

マイナンバーカードの普及・利用に関するお役立ち情報をお届け

マイナンバーカード・インフォ（自治体向け） vol.93

○マイナンバーカードを活用した行政サービスの導入事例

マイナンバーカードを活用したヘルスケアアプリ『けんこうマイレージ』について

デジタル庁 国民向けサービスグループ マイナンバーカード担当

令和7年12月12日

マイナンバーカードを活用した行政サービスの導入事例

マイナンバーカードを活用したヘルスケアアプリ『けんこうマイレージ』について

NTTドコモビジネス株式会社が提供するマイナンバーカードを活用したヘルスケアアプリ『けんこうマイレージ』について紹介します。

詳細につきましては、次ページ以降の別添をご覧くださいますようお願いいたします。

【別添】NTTドコモビジネス株式会社提供資料

マイナンバーカード・インフォでは、国の施策や民間事業者の事例紹介など、マイナンバーカードの利用促進に関するお役立ち情報をお届けしております。

デジタル庁のマイナンバーカード・インフォ（自治体向けお役立ち情報）において、これまで発出した全てのマイナンバーカード・インフォを掲載していますので、ぜひ、マイナンバーカードの利用検討にお役立てください。

[マイナンバーカード・インフォ（自治体向けお役立ち情報）](#)

♡ けんこうマイレージ

わたしたちは、
さりげない健康を
提供します。

さりげない見守り、さりげない健康づくりが、
なにげない日常を豊かな毎日にする、
そんな社会を築いていきます。



累計導入自治体数

151 自治体

※2025年3月末時点

累計利用者数

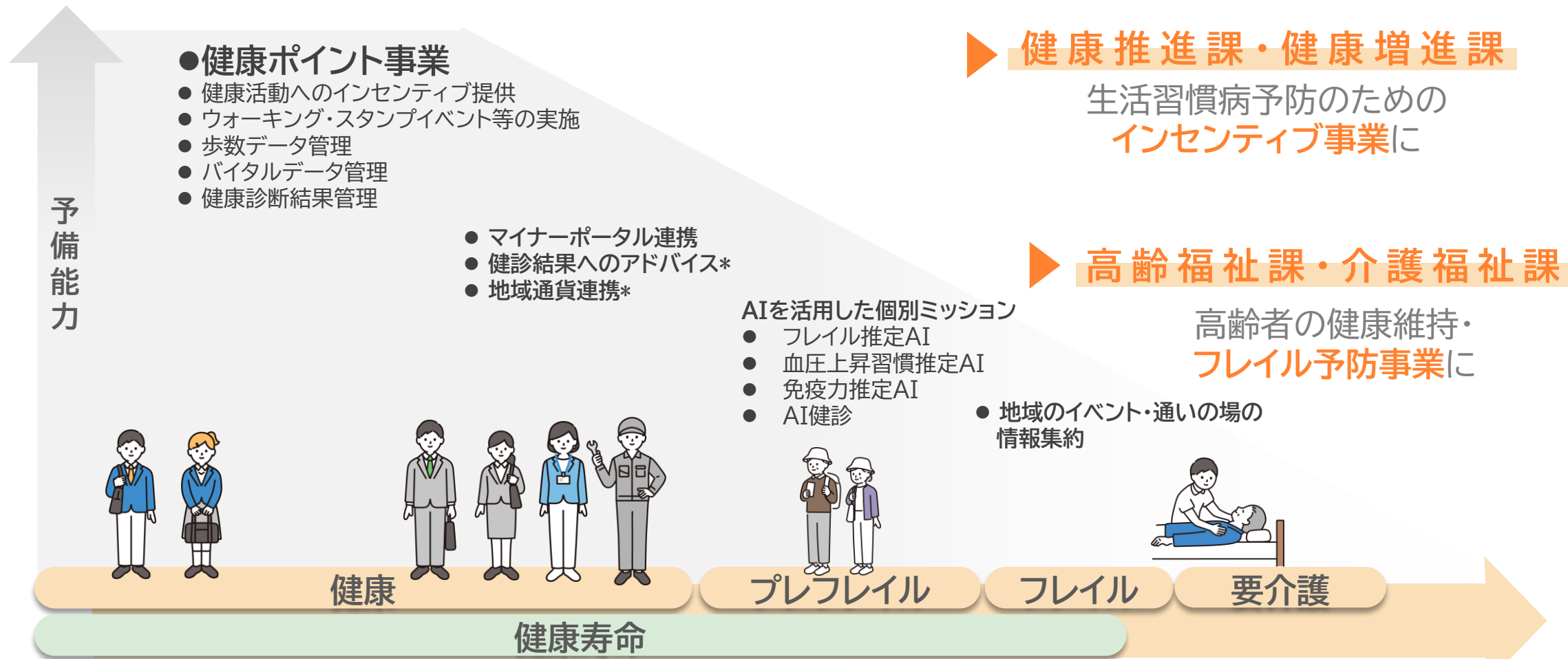
75 万人以上

※2025年3月末時点

「けんこうマイレージ」とは

働き世代 から 高齢世代 まで

けんこうマイレージは幅広い世代の健康づくりにご活用いただけるヘルスケアアプリです。



*アプリ連携で提供(別途費用がかかります)

今までやりたくてもできなかった健診情報の活用へ

健診情報をマイナポータルから取得し、アプリに反映することができます。
手入力に比べてユーザーの負担を大幅に削減することができ、健診結果を活用したサービスがより広まりやすくなります。

アプリ画面

Before

【利用者】

- ・健診結果は項目が多く、全て手入力するのは大変
- ・健診結果を見ても、一年ごとの比較だとふだんの生活習慣を改善するモチベーションにならない

【自治体様】

- ・健診結果を活用した取組が1年ごとになり、日々の健康増進につながらない
- ・退職して国保に入る被保険者の医療費抑制がしづらい



After

【利用者】

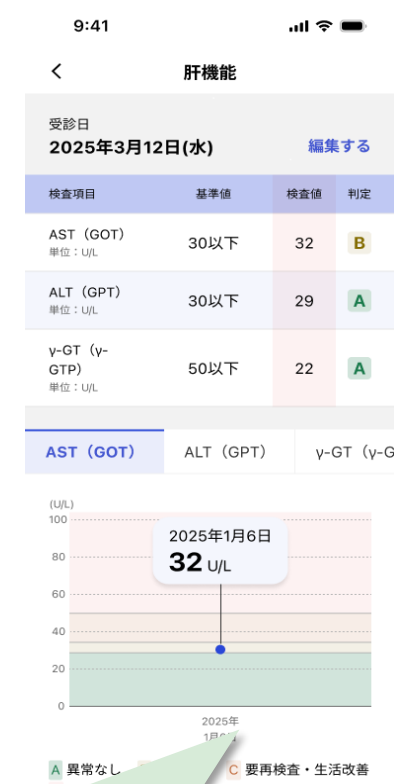
- ・マイナポータルから健診情報を取得でき、入力の負担がなくなる
- ・健診結果を活用した日々の生活習慣の改善を示唆されることで、日々の改善が結果として健診結果がよくなる

【自治体様】

- ・健診結果を活用した取組が日々の健康増進を促進させる
- ・被用者保険の健診情報も取得できるため今まで実現しづらかった壮年期の住民のケアを実現できる



検査項目ごとにイラスト表示しわかりやすく表示



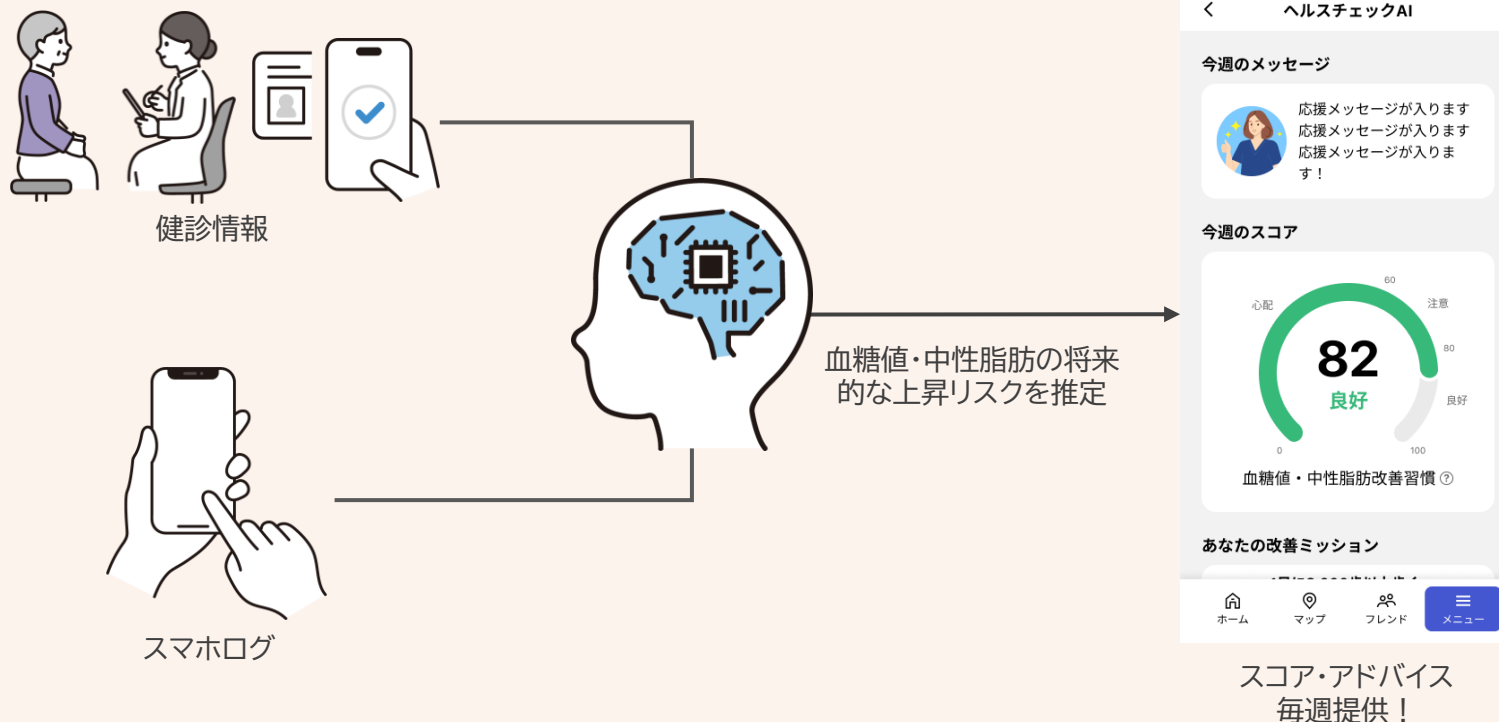
各診査の詳細画面では、基準値・検査値、過去推移、比較を表示

※画像はイメージです。

健診情報のさらなる活用事例: AI健康アドバイス

健診情報や毎日の歩数、日々計測する体重などのデータを基に、AIが血糖値と中性脂肪の将来的な上昇リスクを推定し、利用者ひとりひとりに適した生活習慣を改善するためのアドバイス・ミッションを毎週提供します。

AI健康アドバイス



※利用者はマイナポータルに格納されている自身の健康診断データを連携させるか、または手入力を行うことで、フィードバックを受けることができます。

直近の健康診断結果に加え、現在の生活習慣状況(歩数・BMI)を続けると、1年後に各検査項目(中性脂肪、HbA1cなど)が改善/悪化するかを予測します。

リスク推移の可視化が利用者のリスク認知に繋がり、
生活習慣病の予防にも寄与します

けんこうマイレージに関するお問い合わせはこちら



NTTドコモビジネス株式会社
BS本部 スマートワールドビジネス部 スマートヘルスケア推進室

Email: mile@ntt.com

- ✓ サービスの詳細
 - ✓ 導入事例
 - ✓ 導入費用/ランニングコスト など
- お気軽にお問い合わせください。